

日ごろから市政の各般にわたり、ご理解と温かいお力添えをいただき厚くお礼申し上げます。

市民の皆さんからの幅広い声を市政に生かしていくために、「市長への手紙」を実施しました。このたびは貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

貴団体からの剣道場（武道館）建設のご要望につきましては、市長就任前から承知しており、就任後、担当しております生涯スポーツの担当者から現状について説明を受けました。

現在の練習場としては、総合体育館、銭函市民センター、稲北コミュニティセンター、長橋小学校学校開放など市の施設もご利用いただいていると伺っております。

ご承知のとおり、市が管理している社会体育施設の多くは老朽化が進み、その修理や整備に追われているのが現状であり、新たに剣道場建設を計画することは難しい状況にあります。

先日、市民体育大会の開会式には私も参加いたしました。市内には剣道を含め多くのスポーツ団体が生涯スポーツの振興や青少年指導にご尽力いただき、また、市に対しても様々なご要望が出されております。

私といたしましても出来るだけご要望には応えて参りたいと考えておりますが、財政状況も含め現状についてご理解いただきたいと考えております。

なお、生涯スポーツ担当課からは、総合体育館や学校の夜間開放などには曜日等の調整はありますが、まだ利用可能な場所があると

聞いております。私の方からも担当課には指示しておりますので、是非一度ご相談いただければと思います。

次に、来年度から中学校で必修化される武道についてですが、中学校では平成24年度から新しい学習指導要領が始まり、体育では柔道、剣道、相撲の中から各学校で一つを選択して実施することとなっております。

各学校においては、種目の選定にあたって指導者の体制や保護者の負担、市内の高校の授業の状況などについて議論した結果、柔道が適切と判断したものであり、当市教育委員会ではこの結果をもとに、畳マットなどの施設設備の整備を進めることとしておりますのでご理解賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、私たちのふるさと小樽のまちづくりに一層のご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

小樽剣道連盟の益々のご発展と後藤会長をはじめ会員各位のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、略儀ながら書状をもってお礼のごあいさつとさせていただきます。

平成23年 8月22日

小樽剣道連盟会長 後藤 言行 様

小樽市長

甲松義治